

2016年度の目標

	2017年（中期）目標	2016年目標
二酸化炭素排出量	2005年度比25%削減 平成26年度 電気事業者排出係数 0.647 kg-CO ₂ /kWh を使用した場合	2005年度比24.5%削減 平成26年度 電気事業者排出係数 0.647 kg-CO ₂ /kWh を使用した場合
水使用量	2005年度比35%削減	2005年度比30%削減
一般廃棄物排出量	2006年度比50%削減	2006年度比48%削減
グリーン購入	事務用品グリーン購入比率 30%以上維持 グリーン購入適用範囲拡大	事務用品グリーン購入 30%以上
環境PR活動	環境優良商品・環境配慮型商品 の売上構成比率 1.5%以上	展示会、セミナー、見学会、 研修会の実施 環境優良商品・環境配慮型商品 の販売
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 取扱っている化学製品の SDS より含有する化学物質を把握 ▪ 年度末に在庫として購入した化学製品の数量を集計 ▪ P R T R法に該当する物質の在庫量を集計 	

全体の取組状況の評価及び見直し記録

2016年4月1日

代表者	環境管理責任者
吉岡	黒川

① 環境管理責任者は以下のことを確認し、必要な処置を取ります。

		問 題 点	対策・改善内容
環境活動計画が予定通りか	適	ユーザーの意識が経済状況の変化もあり、価格が優先されている。	各種展示会、講習会での啓発で、流通商社としての意識を高めていく。
法律を守っているか	適	遵守している	
前回の全体評価により行われた改善の効果	有	PRTR法・消防法に係る商材の保管方法の明確化。	各事業所それぞれの在庫商材のSDS及び化学物質量の管理を実行した。
取組活動が、事業所にとって有意義かどうか	有	意識を植え付けるのに成功したと思うが、未だ結果は歩留まりしている。	結果に満足せず、紙、ごみ、電気、水道水の削減を継続していく。

② 代表者は、①の結果より以下のことを行います。

	必要性	変更の内容
環境方針の内容変更	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	特にありません。
環境目標、環境活動計画の内容変更	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	変更はありませんが、現状の数値を維持・向上すると同時に、展示会や講習会の開催により、営業における環境行動の更なる強化に努めます。
その他、環境経営システムの内容変更	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	特にありません。

総括

好調を維持してきた世界経済が中国経済の減速、世界的なテロの脅威などにより不安定さが鮮明になった平成27年は、日本国内においても円高や株価の急変など不安がつる潮目の変わった1年となりました。また、北陸新幹線の金沢までの開業や中国人の爆買いや世界遺産の話題など観光面では実り多い1年だったのではないのでしょうか。

足下においては原発再稼働、北陸新幹線の延伸工事、福井国体関連工事など話題豊富ではありますが、鋼材相場の下落が響き、まちづくり関連の売上が大幅に減少する一方、ものづくり関連では引き続き製造業が好調であることに加え、補助金を利用した設備投資が促進され、全体では最小限の売上減に押さえることができました。

そのような中、私たちのEA21は10年目を迎え、日常の環境行動だけでなく展示会や見学会、セミナーなどを通じた環境行動の啓蒙にも積極的に取り組むまでに成長できたと確信しております。本年1月には「吉岡幸コンプライアンス憲章」を制定し、3年後に迎える創業100周年に向け長期的な企業価値の増大をめざすとともに、環境行動宣言に則って一層力強く推進してまいります。

平成28年3月



吉岡幸株式会社
代表取締役社長 吉岡正盛